

補助金額算出例

※消費税を除きます。

※備蓄倉庫の設置場所・規模・仕様等の検討・設計及びその他の手続きを、一級建築士や二級建築士に委託する費用及び備蓄倉庫の整備費が補助対象です。

検討・設計費と整備費の合計で上限 133 万円です。

【補助率 2/3 上限 133 万円(ア)】

1 検討・設計費の申請後、整備費の申請を行う場合

①検討・設計費の見積金額が 50 万円の場合

検討・設計費	493,100 円(税抜き)
法定手続 (確認申請)	6,900 円(税抜き)
総額	500,000 円(税抜き)

総額 500,000 円 $\times 2/3 = 333,333$ 円

1,000 円以下を切り捨て 333,000 円 (イ) (補助金額)

②整備費の見積金額が 180 万円の場合

整備費	1,788,000 円(税抜き)
法定手続 (完了検査)	12,000 円 (税抜き)
総額	1,800,000 円(税抜き)

総額 1,800,000 円 $\times 2/3 = 1,200,000$ 円

① + ② = 333,000 円 + 1,200,000 円 = 1,530,000 円 (ウ)

(ア)と(ウ)を比較し、(ウ)が(ア)の上限額を超えるため、

1,330,000 円 - 333,000 円 = 997,000 円 (エ) (補助金額)

(イ) + (エ) = 1,330,000 円 (①と②を足した補助金額)

2 法令適合の検討が終了しており、整備費の申請を行う場合

① 見積もり金額の合計の 2/3 が補助金額の上限額未満の場合

整備費	1,500,000 円(税抜き)
総額	1,500,000 円(税抜き)

総額 1,500,000 円 $\times 2/3 = 1,000,000$ 円(オ)

(ア)と(オ)を比較し、(オ)の方が小さいため、1,000,000 円 (オ) (補助金額)

② 見積もり金額の合計の 2/3 が補助金額の上限額以上の場合

整備費	2,500,000 円(税抜き)
総額	2,500,000 円(税抜き)

総額 $2,500,000 \text{ 円} \times 2/3 = 1,666,666 \text{ 円(オ)}$

(オ)が上限額 (ア) を超えるため、1,330,000 円 (補助金額)